

創刊100周年 MARCH、関関同立...
160私大入試速報

ザンゴ毎日

大正11年3月31日第三種郵便物認可 2022年3月20日発行
第101巻第15号 通巻5718号 毎週火曜日発行(3月8日発売)

増大号 特別 450円
定価

3.20 2022

亀梨和也
巻頭グラビア&
インタビュー7P

衰退する
自民「派閥」

男もハンドバッグを持つ

日本人・日本語の
起源が判明!

全線開通へ
奇跡の「只見線」
思い出の風景

STOP! プーチンの
無謀な侵略戦争

ザンゴ毎日 創刊100周年
2022年3月20日増大号
第三種郵便物認可 2022年3月20日発行
第101巻第15号 通巻5718号 毎週火曜日発行(3月8日発売)

発行人 小島明日奈
編集長 坂巻士朗

発行所 毎日新聞出版
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17
千代田会館5階 電話 03-6265-6941(営業部)

特別 450円
定価 本体409円(税別)

N/S高は進学校ではありません。

2020年度合格実績

東京大学	4名	京都大学	1名
東京工業大学	1名	早稲田・慶應	31名
海外大学	50名	医学部医学科	8名
国公立大学	57名	GMARCH	93名

※2021年8月18日時点(学園集計) ※一人で複数の大学に合格している場合も、それぞれの合格者数に含みます。

生徒数日本一。
多様な生徒が多様なことを学んでいます。
仲間もやりたいこともN/S高できっと見つかる。



脱 偏差値教育

学校法人角川ドワンゴ学園
N高等学校・S高等学校

☎0120-0252-15 【受付時間】平日 10:00~19:00
(土日・祝日・年末年始を除く)
<https://nnn.ed.jp/> N高等学校



Printed in Japan
凸版印刷株式会社 印刷

雑誌 20073-3/20



4910200730323

日本人の起源が判明した！



独マックス・プランク人類史科学研究所研究員(考古学)

マーク・ハドソン博士

- ▶ 11カ国の考古学・言語学・遺伝学研究者から年間研究
- ▶ 起源は9000年前、中国北部「西遼河」流域にいた農耕民
- ▶ 沖縄の住民・言語の起源も定説と違つ結論

中国内モンゴル自治区通遼市内を流れる西遼河 (Photo by rheins/CC BY 3.0)

0年前、今の中国内モンゴル自治区にある「西遼河」という川の流域に住んでいた農耕民と突き止めたのです。

——今まで分かっていたことをどのように明らかにしたのですか。

ハドソン 今回の研究は考古学、言語学、遺伝学の3分野から探求したことが大きな特徴です。今まではそれぞれの分野でアプローチしていたため、決定打に欠けました。3分野から三角測量することで、包括的な結論を導き出すことができましたのです。

具体的に言うと、トラン

スユーラシア語に含まれる現在と過去の98言語を調べたところ、耕作に関する言葉特に「キビ・アワ(粟)」の種子や「キビ・アワのかゆ」などの語彙に共通点があることが分かりました。一方、コメに関する語彙に共通点はありませんでした。食料の生産と保存に関する「発酵」「粉碎」、定住を示唆する「クルミ」「ドングリ」「クリ」、家畜の「豚」「犬」といった語彙にも共通点がありました。

考古学的には、西遼河流域で新石器時代の9000年前、キビ・アワの栽培が始まったことが分かっています。キビ・アワ農耕文化とトランスユーラシア語は農耕民の移動と共に徐々に広がり、5500年前に朝鮮半島、5000年前に今

の極東ロシア沿海地方に伝わりました。

——定住生活を送っていた農耕民がなぜ移動したのですか。

ハドソン 人が一カ所に定住すると、家畜との接触やゴミなどさまざまな要因から移動生活する集団より死亡率が高くなることが分かっています。しかし、出生率が死亡率を上回る集団は人口を増やせます。

トランスユーラシア語に含まれる言語は「キビ・アワのかゆ」を意味する語彙に共通点があると話しました。そこから考えられることは、話者の集団がキビ・アワのかゆを食べ、離乳食にも利用していたことです。赤ん坊が離乳食を食べるようになれば、母親は授乳する必要がなくなり、次の妊娠や

出産に備えられます。つまり、キビ・アワのかゆを食べていたことは、農耕民の人口増加と密接に結びついていると考えられるのです。

朝鮮半島に縄文人がいた証拠

——西遼河流域を出た農耕民は5500年前、朝鮮半島に移動し、その後日本列島に移動したのですか。

ハドソン 大きな枠組みでいえば、そうです。しかし非常に面白いことに、農耕民が日本列島に入ってきたのは2900年前です。2600年間も朝鮮半島で足止めされました。なぜかはまだ分かっています。

実は縄文時代、朝鮮半島と日本列島の間には人の交流があったことが、数多くの研究で明らかになっていま

水稻を育てるには水田を整える必要があり、それを農耕する集団は移動しにくいものです。しかし、キビやアワは農耕が難しくなく、移動しやすい。そうしたことも農耕技術や言語の伝播にプラスに働いたと考えられています。

す。日本は地理的に孤立していたわけではありません。具体的には、韓国にある新石器時代の貝塚、東三洞遺跡(釜山広域市影島区)から日本列島の縄文土器や黒曜石が出土しています。九州から出土したのと同じ漁具も見つかっています。それらのことから、縄文時代に人々の交流があったことがうかがえます。

また、今回の研究では、韓国の徳島(慶尚南道統営市)から出土した古人骨の遺伝子を新たに分析し



発掘中の沖繩豊宮古島市「長壽遺跡」。日本列島の成立にかかわる重要な発見があった。2008年撮影、マーク・ハドソン氏提供

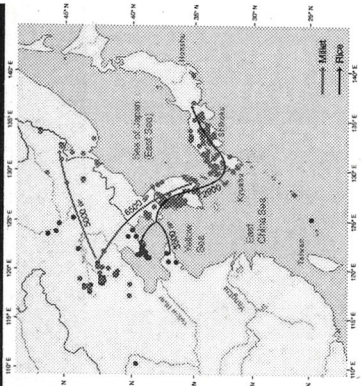
——私が子どもの頃、日本語、朝鮮語、トルコ語、モンゴル語は「アルタイ語族」に属する言語と学んだ覚えがあります。今回の論文ではどう説明したのですか。

マーク・ハドソン 私たちはそれらの言語をアルタイ語ではなく、ユーラシア大陸を横断する形で分布する言語連合「トランスユーラシア語」と捉えています。名付けたのはこの研究の代表研究者、私が所属する独マックス・プランク人類史科学研究所のマーティン・ロベーツ博士(言語学)です。

トランスユーラシア語の特徴の一つは「目的語の次に述語がくる」という点です。私たちの研究所を中心に日本、中国、韓国、ロシア、米国など11カ国の研究者で構成する国際研究チームが約5年かけて研究しました。その結果、日本語の起源につながるトランスユーラシア語の話者は900

2022.3.20 32

Mark Hudson 1963年、英国生まれの考古学者。オーストラリア国立大で博士号取得。西九州大教授などを経て、理論・沖縄・宮古島などで遺跡調査を行う



ました。その結果は「欲知島の人骨から得た遺伝子の95%近くは、縄文人の人骨から得た遺伝子と共通する」というものでした。欲知島人に遺伝子をもたらした縄文人は朝鮮半島で暮らしていた人だったのか、それとも日本列島からやって来た人だったのか。欲知島人から得た遺伝子だけでは分かりません。

しかし、これまで日本にだけ存在したと考えられてきた縄文人が朝鮮半島で暮らし、現地人と混血していた可能性が明らかになったのです。

——縄文時代の日本列島にギビ・アワ農耕文化が入っ

てもおしくなかつたのに、そうならなかつたということですか。

ハドソン 縄文時代の日本列島に暮らした人々は大豆や小豆を栽培していました。農耕文化がないわけではなかつたのですが、ギビ・アワ農耕文化が入ってきたという証拠はありません。一度は入ったものの、定着しなかつたという可能性も考えられます。

——では、2900年前にどのように入ってきたのですか。

ハドソン 農耕文化と言語の伝播が起きたのは、西遼河流域からだけではありません。今の中国の黄河流域では「シナ・チベット語」と呼ばれる言語が生まれ、5900年前ごろから拡散が始まりました。トランスユーラシア語が東西に伝播しながら南に広がらなかつたのは、シナ・チベット語圏がすでにあつたからでしょう。

新石器時代の後、世界は青銅器時代を迎えます。この時代は「紀元前のグローバル化時代」でもありました。中国では元々あつた稲作に加え、西方から小麦や大麦が伝わりました。その結果として生まれたコム・小麦・大麦の農耕文化と、ギビ・アワ農耕文化は3500年前、遼東半島（今の中国遼寧省）付近で混じり

日本で「言語転移」が起きていた

——その時にトランスユーラシア語に含まれる言語が日本列島に入ってきたのですか。

ハドソン それまでなかつた作物の農耕が始まつたということは、それを栽培した人々が大量に移住したと考えられます。農耕技術だけが伝播したのではなく、人の移動を示しているのです。その際、「原日本語」ともいふべき言葉も持ち込

合、朝鮮半島に伝わりました。その複合農耕文化が日本に伝わつたと考えていいでしょう。

農民にとって、一つの作物に頼ると不作のリスクが高まるものですが、複数あればリスクが減ります。大陸と気候が大きく異なる日本列島だからこそ、農耕文化が伝わるのに時間を要したのかもしれない。

まれたと考えられます。

——縄文人が話していた言語はどうなつたのですか。

ハドソン 縄文人が使つていた言語は、2900年前に外から入ってきたトランスユーラシア語の一つ、原日本語にすっかり置き換わつたと考えられます。言語学で「言語転移」と呼ぶ現象です。

縄文時代の人たちが話していた言葉がどんなものだ

つたかは分かつていません。おそらくアイヌ語が縄文時代の言語を受け継いだのでしよう。現在の日本語には縄文時代の言語に由来する語彙はほぼ残っていないと考えていいでしょう。

19世紀の北海道を想起してください。明治時代になるまで、北海道の大半はアイヌ民族が住む土地でした。今、北海道の地名にはアイヌ語に由来するものが多くありますが、アイヌ語を話せる人は少なく、日常的に使う人がいる言語とは言い難い。日本語への言語転移が起きたのです。

技術水準が高い集団が入つてくると、その集団が使う言葉に置き換わる現象が世界各地で起こっています。2900年前の弥生時代、高度な農耕文化の担い手たちが日本列島に大量に入ってきたことで、言葉の転移が起き、それが今の日本語になつたと考えられます。

これは日本語や日本人に限つたことではありません。全ての言語や文化は長い時間をかけて、他の言語や文化との相互作用と混合を経て、今の形になつたと考えるべきでしょう。

——今回の研究では沖縄に関しても新たな発見があつたそうですね。

ハドソン 私が発掘に立ち会つた宮古島の「南嶺の長墓遺跡」（沖縄県宮古島市）から出土した先史時代の人骨のDNA（デオキシリボ核酸）を調べたところ、その100%が縄文人と共通する遺伝子だったので

宮古島は沖縄本島と台湾

のほぼ中間にあり、従来は南方から人々がやって来たと考えられていました。先島諸島（宮古列島と八重山列島）から出土する土器は台湾の土器と似ていて、縄文土器は発見されていません。また南方の文化と重なる目でできた斧も見つかっています。

つまり、縄文文化の痕跡はありません。それにもかかわらず、宮古島から出土した古人骨の遺伝子は縄文人と同じでした。これまでの南方説を覆す発見です。縄文文化と縄文ゲノム（全遺伝情報）は必ずしも一致していないことが分かつたのです。

もう一つの発見は沖縄への人の流れです。沖縄本島で出土した近世（17、19世紀）の人骨を分析したところ、縄文人と共通するDNAは約20%でした。現代沖縄人とほぼ同じです。今まで「北海道と沖縄にかつて多く住んでいたのは縄文人、本州、九州、四国は弥生人」という考えがありましたが、そうではないことが分かつたのです。中世（古くは縄文時代、11、15世紀）になって、九州から「本土日本人」が琉球列島に移住し、言葉も伝わりました。琉球語はアイヌ語とは異なり、日本語と同系統である理由もはつきりしました。中世

になって琉球列島に移住した人たちが言葉を持ち込んだのでしよう。ここでも言語転移が起きています。

——2900年前に原日本語とギビ・アワ・コムなどの農耕文化を持つ集団が日本列島に入り、その集団が1000年前に琉球列島に移住したということですか。

ハドソン 今、判明している情報をつなぎ合わせると、その仮説が最も有力です。しかし、研究は緒に就いたばかりです。これから古人骨のDNA解析が進めば、日本人はもとより、他の民族の移動経路をもっと詳しく分かるはずですよ。現時点で言えることは、日琉

語族（構成する言語は日本語と琉球諸語、朝鮮語族（朝鮮語や済州語など）、テュルク語族（トルコ語やウズベク語など）、モンゴル語族（モンゴル語など）、ツングース語族（満州語など）にはトランスユーラシア語という共通の祖語があり、その話者だつた農耕民が散らばつて各地の言葉・文化に発展していった。日本列島では2900年前に朝鮮半島から渡つてきた渡来人「弥生人」が原日本語と農耕文化を伝えたということです。研究が進めば、もっと細かい人々の移動が見えてくるでしょう。

構成ライター・角山祥道

この国の危機管理 失敗の本質

柳田邦男

徹底的な調査と検証で、日本の組織を蝕む「負の遺伝子」をあぶり出す。危機の時代のゆくえを追う、渾身のドキュメント。

ドキュメンタリー！ ケーススタディ

破局が、再生が

作家活動50年間の総決算！

この国の危機管理 失敗の本質

柳田邦男

破局が再生が

毎日新聞出版

978-4-620-32725-9 定価2090円(税込)

千102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 TEL03-6265-6941 (ブックオフ・セブン)0120-29-9625でも注文できます。